

2023年11月1日

mediford の「薬理的試験のためのサル用チャンバー装置」が九州地方発明表彰の発明奨励賞を受賞

メディフォード株式会社（本社：東京都板橋区、代表取締役社長：清水 啓、以下「mediford」）は、このたび、公益社団法人発明協会（所在地：東京都港区）が主催する「令和5年度地方発明表彰」の「九州地方発明表彰（※1）」において、発明奨励賞を受賞しましたので、お知らせいたします。

地方発明表彰は、大正10年に開始された表彰事業で、全国を8地方（北海道・東北・関東・中部・近畿・中国・四国・九州）に分け、各地域において優れた発明、考案又は意匠を生み出した技術者・研究開発者を顕彰するものです。

本発明の詳細については、以下をご確認ください。

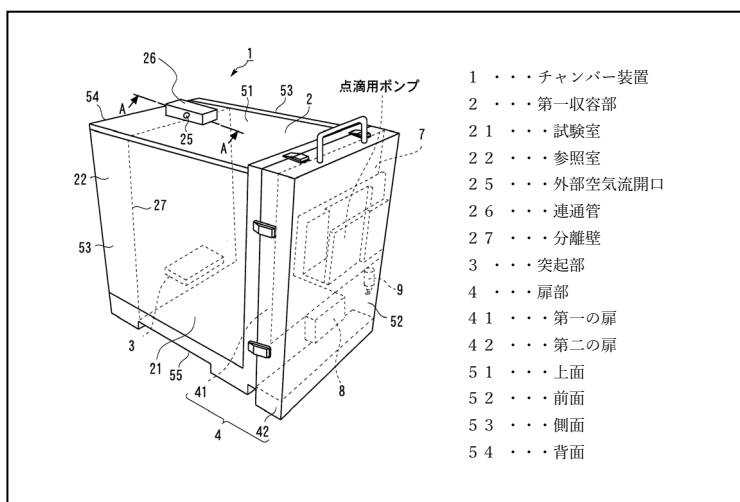
■九州地方発明表彰・発明奨励賞

発明名称	「薬理的試験のためのサル用チャンバー装置」（特許 5135152 号）
受賞者	メディフォード株式会社 佐々木 一暁

従来のチャンバー装置では、個々のチャンバーにそれぞれ金属製の檻が必要となる構成であるため装置として高価であること、外部からの動物の詳細な観察が困難となるため困難なこと、及びチャンバー内に檻があることにより換気や呼吸により発生する空気の自然な流れを阻害するといった問題点がありました。

本発明は、これらの問題点を解決し、動物愛護及び管理に基づく適切な動物実験を可能とするため、サル等の動物を用いた医学的及び薬学的測定において、無麻酔、無拘束状態でこれを実施

することができ、かつ簡便な構成を有するチャンバー装置であります。サルを用いた機能解析や非臨床研究は、ヒトの病態の解明や新薬開発に重要な知見を与えるものでありますが、昨今は動物愛護の観点から特に欧米ではサルを用いた試験の規制が厳しくなっています。本発明によれば



動物に与えるストレスを軽減しつつ、簡便にヒトへの影響を予測することが可能となるため、動物愛護のニーズも応え、創薬研究・開発に大きく貢献できるものであります。

(※1) https://koueki.jiii.or.jp/hyosho/chihatsu/R5/jusho_kyushu/index.html

■お問い合わせ先

<製品サービスに関する窓口>

メディフォード株式会社 総務・人事部

電話：03-6905-5860 E-mail：medf-dds-gas@gg.mediford.com